
令和4年度 多文化共生推進懇話会 会議録

1. 日 時 令和4年12月22日(木) 14:00～16:00

2. 場 所 アオッサ6階 研修室603

3. 出席者

<委員>

舟木座長、本道副座長、桶谷委員、飯田委員、千秋委員、コマラ委員、間宮委員、高屋委員

<事務局>

和田観光文化局長、国際室(鈴木副主幹、来丸主査、山本主事)

4. 会議録

議事 (1)福井市の国際化の現状について

～事務局より説明～

委員 ネパールが増えていると説明があったが、どの在留資格のネパール人が増えているか分かるか。

事務局 留学の在留資格が増えている。日本語学校への留学生が増えているのではないかと考えている。

委員 福井市は技能実習生が多いので、20代、30代の人が多いと思うが、子どもや高齢者の増減は分かるか。

事務局 市民課からもらっているデータでは、16才未満か16才以上かの分類でしかもらっていないため、年代別の増減は分からない。今後、16才未満、16才以上のデータも集計して、増減を見ていく。

委員 湊小学校の児童のうち約1割は外国人である。湊地区に外国人が多い原因について、はっきりとは分からないが、「安いマンションが多い」、「福井駅に比較的近い」、「大学や日本語学校がある」等の理由ではないかと推測している。

議事 (2)福井市多文化共生推進プラン(第3次)進捗状況について

～事務局より説明～

委員 「私立園への翻訳機購入支援」についてだが、保育園で保護者との面談の際にタイ語やベトナム語等、市の行政通訳員で対応できない言語への通訳依頼が県協会に頻繁にあるため、このような私立園への翻訳機購入支援は園側にとってはよいことだと思う。ただ、補助するのはいいが、翻訳機に頼りすぎにならない、購入しただけにならないように、使い方のレクチャーをしてはどうか。

通訳アプリとしてはボイストラがあるが、これは使用したデータが蓄積されるため(海外で使ったデータも蓄積される)、使用することでより翻訳精度が上がっていく。

事務局 翻訳アプリの研修会については、令和5年1月に、観光事業者、インバウンド向けとして、実施する予定で、日本人市民が外国人や苦手意識を払拭できるツールとして、翻訳アプリの活用を促していきたいと考えている。
来年度「やさしい日本語」、「翻訳アプリ」に関する研修会の開催を予定しており、保育士にも研修会への参加を促すなど、関係各課と連携していきたい。

委員 学校における支援について、未就学の子どもや学校に行けなくなった子ども等はいるか。

事務局 外国籍の子どもには、学校教育課が就学時希望調査を出しており、今年度は14名の子どもが対象だったと聞いている。
現在のところ、すぐに帰国する予定がある子ども以外は、全ての子どもが就学を希望しており、本市には未就学の子どもはいない。
現時点では、チャレンジ教室にも外国籍の子どもは来ていない。

事務局 防災について、地区やそれぞれの団体で取り組まれていることや外国人目線での意見があれば教えて欲しい。

委員 地震と水害で避難所が別になっており、日本人でもどこが避難所か分からないこともある。ましてや外国人となると更に分からないのではないかと。外国人にも防災について理解してもらうために、ふくい市民国際交流協会の協力を得て、福井市総合防災訓練に外国人にも参加してもらい、防災に関する知識を深めてもらった。

委員 防災無線は日本語だけなので、分かり難い。マークでお知らせしてくれると分かりやすい。

委員 地震だとスマホが鳴るから、何か起きていると分かるが、大雨などは鳴らないので危険に気づくことができない。

最近、マイタイムラインと言って予め災害が起きた時の行動を決め備えることが推奨されている。多言語でマイタイムラインを作成できるツールが、最近クリアから出されたため、このような媒体を活用して、外国人自身が自助の部分で研修を行っていけるようサポートできたらいいのではないかと。災害時に行政がいくら情報を出しても、最後は事前にどれだけ情報を持っているかが重要になる。

委員 音声の情報だと流れていってしまうが、文字だと翻訳できるため、文字で情報をもたらえると助かる。

委員 福井市の LINE に災害関連の情報は流れるが、みんな登録しているわけではない。この情報を多言語で提供できるようになるといい。または、災害情報だけを

即時多言語で提供できる体制を整えてはどうか。

委員 過去に他市で、災害時の情報を間違えて翻訳して外国人に流したことがあり、問題になった。そのため、行政がすべて多言語化を担うのはリスクが高い。多言語で提供するよりも、むしろ外国人に災害時の重要な日本語を理解してもらうようにすることの方が大切だと思う。

議事 (3)多文化共生における国・県の動向について

～事務局より説明～

委員 技能実習制度の見直しは、この制度ができた時から見直しされることは決まっていた。このスケジュールに沿って行っているだけであり、制度に問題が多いため、見直しを検討されているということではない。

この制度について、新聞などで様々な報道があるが、ほとんどの事業所ではうまく運用されている。

円安で日本の魅力が落ちてきているが、他のアジア各国と比べて、日本は法律もしっかりしていて安心・安全ということで選ばれている。

特定技能は転職できるため、都会に転職してしまう外国人が多い。

日本語能力は国によって異なり、個人の能力にもよるが、日本に来てからは勉強する時間もなく、なかなか上達は難しい。

事務局 令和4年末のデータを見ると、本市の技能実習生は、中国が減少しており、ベトナムが横ばいとなっている。一方、インドネシアは他と比べて大幅に増加しているが、今後はインドネシアが増えてくるか、ご意見をお聞かせいただきたい。

委員 今後はどこかの国が増えるのではなく、アジア全体でまんべんなく増え、国籍は多様化していくのではないかと考えている。どこかの国に頼っていると、その国に何か起きた時のリスク分散ができない。

委員 カンボジアだともともと繊維が得意で、ミャンマーだとエンジニアや医療系の大学が多いためエンジニアが多い等、それぞれの国で特徴がある。

委員 地域のお祭りに飛び入りで参加した技能実習生がいて、日本の文化に大変興味を持っていた。ただ働きに来ているだけでなく、地域に溶け込みたい、地元の文化を知りたい外国人もいるため、公民館としても支援していければと思う。

議事 (4)令和5年度福井市多文化共生関連事業概要について

～事務局より説明～

委員 公共交通については、慣れれば器用に乗り換えて利用している。福井での生活

について、残念ながら、福井はおもしろくないとよく聞く。

委員 例えば、同じ外国人から、外国人目線で見た福井の良さを聞くと、魅力がより伝わるのではないか。やはり我々日本人側からどれだけ魅力を説明しても響かないのではないか。

先日、福井に入ってきたミャンマー人が、福井に全く知り合いがいない状況だったため、ミャンマー出身の外国人を紹介したところ、もちろんミャンマー語でコミュニケーションが取れて、週末遊びに行くようになった。

そういう仲間づくりができると、福井も居心地が良くなるのではないかと思う。一人だと心細いが、だれか一緒に行ってくれる人がいれば安心する。

委員 外国人は車を持っていない人が多いため、雨の日は大変。電車やバスの本数も少なく、それも福井のような田舎暮らしが嫌になる一因かもしれない。他の市へ行きたいとき、便利な路線バスがない場合もあるので、行政区分によってバス路線が決められているなら、そこは改善してほしい。

委員 多文化共生であって、民族同一ではない。各コミュニティでそれぞれの文化を持って生活している人たちもいるため、各文化がぐちゃぐちゃに混じることはないと思う。それぞれの外国人が暮らしやすいように整えていくことが大切だと思う。

労働者に関しては、来てもらわないと困るのは日本なので、どうやったら来てもらえるかという事を真剣に考えていかないと難しいと思う。

～全体に対する意見～

事務局 現在、第3次プランが、令和6年度までの期間となっている。令和6年春に北陸新幹線開業を控えており、今後在留外国人の状況が変わってくるということも考えられる。

そのため、プランの改定時期につきまして、ご意見お聞かせいただきたい。

委員 北陸新幹線開業で在留外国人に何か影響はあると考えるか。

事務局 東京へ乗り換えなしで行けるようになるため、東京が近くなり地方へ住む外国人が増える可能性もある。

委員 インバウンドなどの観光面では、新幹線開業と外国人は影響があると思うが、在留外国人には何か影響があるだろうか。

委員 あまり影響はないと思う。

委員 北陸新幹線が開業すると、反対に都会へ出る外国人が増えるかもしれない。

委員 国の総合的対応策では、インバウンドも意識している。そのような視点で考えるのなら、新幹線開業も影響してくると思う。

ただ、多文化共生の取組み自体が大きく変わることはないと思う。すでにやるべきことは行っているのだから、そこから更に大きく転換することはないのではない

か。インバウンドの影響も鑑みて、改定時期を延長してもいいと思うし、このままでもよいと思う。

委員 この議論で結論は出さなくてもよいか。一年一年でコロナの状況も変わるため、予測が難しい。

事務局 今回はご意見を頂けたらと思っただけで、結論は出さなくても問題ない。
また、新幹線が来るということで、大企業が福井に進出する等、そういうことがあるとまた状況が変わってくることもあるかもしれない。
情勢を見ながら対応していきたい。